

科名 消化器科 消化-27a
 対象疾患名 膵癌
 プロトコール名 ゲムシタビン(d1、8、15)

| Rp | 形態 | ルート | 薬剤名 | 投与量 | コメント | 1 | ... | 8 | ... | 15 | ... | 22 |
|----|-----|-----|------------------|--------------------------------|--------------|---|-----|---|-----|----|-----|----|
| 1 | 点滴注 | メイン | 生理食塩液 | 250mL | ルートキープ | ↓ | | ↓ | | ↓ | | |
| 2 | 点滴注 | 側管 | グラニセトロン デキサート | 1mg 6.6mg | 30分かけて | ↓ | | ↓ | | ↓ | | |
| 3 | 点滴注 | 側管 | ゲムシタビン 5%ブドウ糖 | 1000mg/m ² 100mL | 必ず30分で 点滴 | ↓ | | ↓ | | ↓ | | |

～MEMO～

3投1休/1コース(=4週)

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

- ①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。
 - ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
 - ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
 - ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。
- ②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。
 - ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
 - ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。